

受理第4-2号

請 願 書

件 名

選択的夫婦別姓の導入を求める意見書を提出することについての請願

紹介議員

服部 正、徳永 未来、稲吉 道夫、浅井 厚徳、
佐々木真由美

請願の趣旨

学校の授業で選択的夫婦別姓について学ぶ機会がありました。深く調べていくにつれ、選択的夫婦別姓制度を導入するべきだと考えます。

この制度は人々に選択の自由を与えられる有効的な制度だと考えます。例えば、戸籍という日本の伝統を守るために同姓にすることも、ジェンダー平等を目指して別姓にすることも認められるのです。私たちはこのような選択できるという大きいメリットを持つこの制度が導入されないことに疑問を抱いています。加えて最近、選択的夫婦別姓の導入の代わりに通称使用の拡大を進めることが注目されています。しかし、二重管理コストがかかることや海外では通用しないことから代役は務まらないと考えます。

同姓の選択肢しかない今、悩みを抱える人たちを助けたいです。また私たちが今後、成人して同姓か別姓か選択する時には自由に選択できるようになって欲しいです。だから私たちは今行動することが必要だと感じ、活動をしています。以上により、地方自治法第99条の規定により請願を提出します。

請願事項

- 1、 国に選択的夫婦別姓の導入を求める意見書を提出すること。

令和 4 年 2 月 14 日

京都府宇治市議会議長

堀 明人 様

[Redacted]

向川 巴菜

[Redacted]

石田 璃子

[Redacted]

松井 久

[Redacted]

宗戸 琴葉